



萌 木

7 月 号



調布市立第七中学校

校 長 山 田 勝

令和8年7月16日発行

～自尊・立志・感動～

「共」から「個」へ

校長 山田 勝

この週末から、七中も夏休み、長期の休みに入ります。自分で計画し律しながら生活する時間。自身の成長に向けて、意識して活用してほしいと思います。

先週の梅雨の合間、校庭の体育の授業を見ていました。始まりのラジオ体操に取り組んでいた時のことです。フェンス越しに体を動かしている年配の女性を見つけました。その方は、生徒たちの動きに合わせて一緒に体を動かしていました。ラジオ体操が終わると、誰も見ていない（とっていらっしやるでしょうが）生徒たちの背中に手を振り散歩に戻っていかれました。

このとき、体育の授業を受けていた2年生の著しい成長を感じました。それは、共に学ぶ仲間・共に学ぶ場を大切にしていることの表れそのものだと思え取れたからです。生徒たちはただ普段通りに体操していただけたのかもしれません。が、当たり前のように一緒に体操しよう、一緒に学ぼうという真摯な姿勢がフェンス越しにも伝わったのだとしたら、とても価値あることでしょう。

仲間と共に学ぶその姿勢を身に付け取り組むことができていることをうれしく思いました。仲間と共に学ぶそのことがそれぞれの成長に大きな力を与える。その環境が整えられてきていることの表れだったと思います。

夏休み中の学びはどのように進めていけるのでしょうか。学期中と違い、仲間と学びを進めるものではありません。この時間は学習の時間、など時間を区切って一人一人が計画的に取り組むことが大切です。学びのスピードや深さには個人差があります。時間だけに縛られず学びに向き合う場面を作ることができると、自身の学びの奥行きが広がります。そのために、自分が興味あることに、とことん向き合う一日を作ってみることも一つの在り方だと思います。学期中とは違う一人で学びに向き合う時間・場面を作りたいと思います。

生徒一人一人が七中で学んだことを基にしてさらに成長を進める場を夏休みの生活の中で持てるよう、七中の校訓に沿ったためあてを生徒たちに示しています。

夏休みに向けて校訓「自尊・立志・感動」に基づいたためあて

- 「自尊」【自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒】について
 - ・みなさん一人一人はかけがえのない存在です。「自分を大切にし、他の人を大切にする」ことを意識して生活していきましょう。SNSのトラブル防止など周りに配慮する姿勢が、自分を大切にすることにもつながります。当たり前のことにしっかり取り組みましょう。
- 「立志」【夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒】について
 - ・自分の興味・関心のあることについて、さらに学習を深めていきましょう。休み中の自発的な学習は、自分を高め、自信につながります。中学校1年生の、あるいは2年生、3年生の夏は人生に一度しかありません。1学期の学習の結果を振り返り、不得意な教科や単元の学習に積極的に取り組み、学力向上を図りましょう。
- 「感動」【心と体を鍛え、感動を生む生徒】について
 - ・4つの生活習慣「体を動かすこと」「食えること」「寝ること」「排泄すること」が良いサイクルで連鎖することで、学びへの土台・環境が整います。
 - ・生理的欲求以外である「体を動かすこと」を意識して、自分の生活リズムを整えていきましょう。そのためにも、心と体のバランスを保ちながら生活できるよう心掛けましょう。